

合格体験記

氏名 I.M

【合格した自治体（校種・教科）】

愛知県（中学・数学） 大阪府（中学・数学）

①いつから勉強したか？また、どんな勉強から始めたか？

3回生の秋から参考書を開き始めましたが、本格的に勉強がリズムに乗り出したのは3回生の2月ごろです。

②あなたのオススメの教材とは！？

東京アカデミーの参考書シリーズ

東京アカデミーセサミノート（教職教養では役に立ちました）

全国過去問（一般教養、教職教養）

③とっておきの勉強法

全国過去問をひたすら解くこと。ひとつの問題集をボロボロになるまでやることで自信になります。また、他の都道府県でもよく出る問題は重要問題だということがわかるので、傾向対策にもなりました。勉強できない日もあったため、一日に全国過去問2つずつと決め、進められる日は前倒しにしてどんどん進めました。週に1日予備日を作っておき、できなかった分はまとめてその日にしました。

④1日に何時間勉強していたか？

あまり多いほうではないと思います。多く勉強できる日でも集中力が持たないため一日トータル6時間ほどだと思います。平均すると1日2時間くらいでしょうか・・・あまり参考にしないでください。

⑤息抜きの方法は？くじけそうになったときは？

とりあえず勉強机から離れました。空を見上げ、自分のちっぽけさを感じたらまた勉強に戻りました。

⑥どの自治体を受けたか？

神奈川、愛知、大阪府。勉強が間に合わず受けるか迷いましたが、受けることで練習になりました。みなさんも絶対に受けてください。

⑦⑥を踏まえて、それぞれの自治体の面接や筆記（専門含む）などをどのように対策していたか？

神奈川県は7月上旬にある上に専門の筆記もあったので、もっと早めに対策すべきだったと思いました（愛知県も一次で専門があります）。面接はナビで行われる面接練習にて、愛知県、集団討論も先生にかけあって見ていただきました。

⑧ゼミ（授業）や就活と教員採用試験の兼ね合いは？

就活は3回生の秋に少しだけ説明会に行ったきりでその後はしていません。ゼミは週に2回ありましたが、切り替えて頑張っていました。わりと融通のきくゼミだったのでそこまで苦ではありませんでした。

⑨バイトやボランティアはどうしていたか？

ボランティア：1回生のときから少しずつしており、3回生の春ごろまでやっていました。

バイト：塾のアルバイトは週1で続けていました。生徒と話すことで気も紛れました。

勉強以外のこともしていたことで気晴らしになったのかなと思います。

⑩大学生活中にやっておいた方がいいこと！

やりたいなと思ったことは積極的になんでもやってみよう！私も、サークル関係からですが子供たちの前でレクリエーションや劇を披露したりキョンプに行ったりと、時間が許す限りいろいろなことに挑戦してきました。貴重な思い出ですスキルアップもできましたし、何より交友関係も広がったのでよかったです。積極的に人と関わっていくことをおすすめします。

⑪ナビの良かった点は？

月並みですが、同じ夢を持つ仲間と一緒に頑張れたこと。教採は終わりましたが、今は4月から教壇に立つことに対しての不安がいっぱいです。しかし、教採を戦い抜いた同じ境遇の仲間がここにはいる、困った時はみんなに相談しよう、と思うとなんだか安心します。そんな仲間ができたことに感謝です。

⑫あなたはどんな先生でありたいか？

生徒との年の差はどんどん離れていきますが（笑）、中学生の気持ちを忘れない先生でありたいと思います。こちら（教師）側の都合で生徒をねじ伏せるような先生はいやだなと思うので、常に生徒の気持ちを考えながら日々を生徒とともに過ごしたいと思います。

⑬これから教員採用試験を受ける先生の卵たちへ！

教採までの道のりは本当に長く感じると思います。不安になったり、本当に先生になりたいのか迷ったりしてしまうこともあるかもしれません。私もそう思うことは何度もありました。しかし今振り返ると、何度も心を切り替えて頑張ったり面接練習のために自己PRや志望動機を練り直したりしてきた時間は、「教師になりたい」という気持ちをより強く持つための大切な時間だったんだなと思います。

私たちは今、スタートラインに立ったところです。

私も不安で一杯ですが、みなさんも後に続いて頑張ってください！！